

白老町社会福祉協議会だより

令和7年

10月

第170号
年4回発行

ほほえみ

社協だより「ほほえみ」は赤い羽根共同募金の助成金で発行されています。

赤い羽根共同募金、はじまる

**ポップコーンと
ベビーカステラ、大好評！**

社協では町内の様々なイベントに参加し、子ども縁日や軽食の販売をしています。出店の益金は、赤い羽根共同募金などへ寄付されます。

10月1日より、町内会戸別募金を始め街頭募金や学校募金・職域募金など様々な方法で募金活動を実施します。寄付金付きグッズ等も多数ご用意しております。集まった募金の約7割が白老町内、約3割が全道の福祉・災害支援などで活用されますので、ご協力よろしくお願いいたします。





赤い羽根共同募金運動が始まります！



運動期間 — 10月1日から12月31日まで —

募金活動には様々な種類があります。町内会で活動していたく「戸別募金」、町内商業施設で声かけを行う「街頭募金」、事業所内で募金箱を設置してもらう「職域募金」、企業に協力いただく「法人募金」、イベントなどに出席する「興行募金」、寄付金付きグッズなどを活用する「その他募金」があります。右の写真は中学生ボランティアがいそいそ46区内の赤い羽根PRブースと募金箱を作っている様子です。



助成金は集めた市町村で使えるものと、全道で配分し助成されるものの2種類があります。配分の割合は市町村分が約7割、全道配分が約3割となります。参考として昨年の実績から今年度の助成金を下記に記載しています。

全道配分は災害義援金や支援金としても活用されます。

令和6年度募金実績



赤い羽根共同募金 2,631,108円

令和7年度助成金

町内事業へ助成 2,008,188円

+ 全道助成事業として 1,594,000円

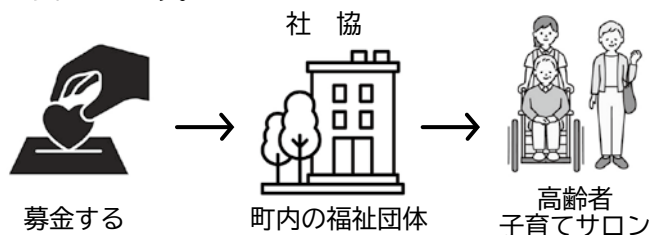
① 赤い羽根共同募金ってなに？

毎年10月に見かける赤い羽根。どんな役割があるのかご存じですか？



② 募金はどう使われるの？

集まった募金は、町内のさまざまな地域福祉活動に役立てられています。



③ 具体的には？

昨年は子育てサロンの活動やボランティア団体などの活動支援に使われました。



④ 強制ではない

募金は強制ではありません。お気持ちでのご協力をお願いします。



歳末義援金助成の募集延長

一般社団法人室蘭建設業協会からの歳末義援金の助成先募集を延長いたします。引き続き皆様からの応募をお待ちしております。

1. 金額 64,000円
2. 対象 地域福祉活動に貢献している団体、施設等、または先駆的な取り組みを行っている団体・施設など
3. 申込 令和7年10月末日まで

ひまわり印刷株式会社
HMC

— 白老店 —

住所 白老町高砂町1丁目1-64
☎ (0144) 82-6100
FAX (0144) 82-4200

公式HPはこちら

冊子・封筒・ポスター・チラシ・パンフレット・伝票
クリアファイル・カレンダー・チケット・挨拶状・名刺

暮らし、ステキに育てます。
HEARTFULL HUMANLIFE

株式会社 川田商会
株式会社 川田建設
株式会社 川田運輸
株式会社 川田産業

白老郡白老町字石山 15
TEL.0144-83-6615
FAX.0144-83-6641

赤い羽根共同募金 グッズ紹介

一定額上の募金をいただいた方にグッズを進呈！
※在庫に関しては事務局までご連絡下さい。

初音ミク 関連グッズ

○クリアファイル (全3種) 募金額300円以上～



Art by カニノト kaninoto ©CFM

Art by まーりん ©CFM

Art by はしば ©CFM

○黒ボールペン (全5種)
募金額200円以上～



Art by イルカ ©CFM

ピンバッジ (全5種)

募金額500円以上～

○オルフェーヴル号 (白老町限定)



○エゾタヌキ、エゾモモンガ (北海道限定)



○初音ミク
(北海道限定)



オリジナルステッカー

○オルフェーヴル号 (全2種)
募金額100円以上～



令和7年度「たすけ愛」歳末見舞金

新しい年を迎える年末の時期、町内で支援を必要とする人々へ義援金をお届けします。

以下の3つの要件をすべて満たす方が対象となります。

- ①令和7年10月1日現在、白老町に在住している方
②下記のA～Cのいずれかに該当する世帯

- A：障がい者世帯 世帯主が身体障害者手帳1級または2級を所持する世帯
B：ひとり親世帯 世帯主が20歳未満の子を扶養している世帯
C：高齢者世帯 世帯主が75歳以上の世帯

- ③前年度収入(※1)が103万円以下の世帯(扶養1名につき38万円加算する)

※対象外となる方※

- ・10月1日現在、施設入所または医療機関に入院されている方や予定のある方
- ・生活保護を受けいている方やこの扶養家族となっている方 など

- ※1 収入とは、給与収入、年金収入、株、配当金、土地売買収入などのことを指します。
・見舞金を贈呈する際、本人同意の上白老町へ世帯状況及び、収入状況を紹介します。

贈呈額

1世帯 5,000円(審査の上、決定し12月下旬に担当の民生委員を通して贈呈されます。)

申請

担当の民生委員の方から申請用紙を受け取り、必要事項をご記入の上、提出して下さい。
(提出が難しい場合は、社会福祉協議会へご連絡下さい。)

提出期限：令和7年11月14日(金) 提出先：担当の民生委員

※役場では取り扱っておりません。

案内

心とからだをととのえる

認知症の方の介護者リフレッシュ事業

温泉に入ってゆっくりと過ごし、日ごろの介護疲れを癒しませんか？

日 時 10月14日(火) 10時～15時

会 場 虎杖浜温泉ホテル

対 象 認知症家族の介護をしている方・していた方

内 容 情報交換などおしゃべりや入浴で気分転換を図ります。

※当日は10時にいきいき4・6に集合15時解散。同所までの送迎が必要な方は事前に連絡してください。

参 加 費 1,000円(入浴、昼食代など)

定 員 18人

申し込み 下記お問合せ先へ電話申し込み(10月9日締め切り)



昨年の事業の様子

白老町認知症の人と家族などの会 施設見学会を行いました！

報告



7月10日(木)に施設見学会を開催しました。参加者は13名で、会場となったのは、社会福祉法人天寿会が運営する「北海道リハビリテーションセンター特養部」と「特別養護老人ホーム友活の里」です。施設を見学した後、職員より施設の概要や利用料金、サービス内容などについて丁寧な説明を受けました。参加者からは、「普段は聞きにくい料金やサービス内容を直接知ることができ安心した」「将来の介護に備えて具体的に考えるきっかけになった」などの感想が寄せられ、実りある見学会となりました。

報告

白老町認知症の人と家族などの会

世界アルツハイマー月間啓発活動を実施しました

白老町認知症の人と家族などの会では、9月の「世界アルツハイマー月間」に、認知症への理解を深める啓発活動を行いました。期間中、いきいき4・6ロビーにて、町内グループホーム入所者の写真を展示する「えがおの花咲く写真展」、関連図書を紹介する「読む知る認知症キャンペーン」、パネル展やリーフレット配布を行い、多くの来場者にご覧いただきました。また、9月19日(金)には、町内3会場で街頭PR活動を行い、会員がリーフレットを配布して、正しい理解と温かい見守りの大切さを呼びかけました。さらに白老立図書館でも関連図書やリーフレット配布を通じて普及啓発を実施しました。今回の活動を通じ、町民の皆さまに認知症を身近な課題として捉えていただく機会となり、地域で共に支え合うまちづくりへの一歩となりました。



ぼらさんだより

報告

サマーチャレンジボランティア体験学習を実施しました

8月23日、白老町総合保健福祉センターいきいき4・6で「令和7年度サマーチャレンジボランティア体験学習」を開催しました。町民の方など29名が参加し、障がいのある方々の生活を支える方法を学びました。午前は点字の仕組みを学び、実際に点字を打つ体験を通じて視覚障がい者の世界を理解しました。さらに盲導犬歩行の見学では、利用者と盲導犬の息の合った動きに触れ、参加者から「信頼関係の大切さを実感した」との声がありました。



また午後の手話体験では、あいさつや自己紹介など日常に使える手話表現を学びました。また筆談や要約筆記、文字起こしソフトの体験を通して、多様なコミュニケーション方法を知ることができました。参加者からは「手話を身近に感じた」「相手に合わせた伝え方の工夫を学べた」との感想が寄せられました。今回の学習会は、点字・盲導犬・手話を通じて、障がいのある方との理解と交流を深める貴重な機会となりました。

福祉・ボランティアなんでも出前講座 「昔の遊び体験」をはまなす保育園で開催しました

報告



9月2日、白老町社会福祉協議会の「福祉・ボランティアなんでも出前講座」の一環として、町内のはまなす保育園で「昔の遊び体験」を行いました。当日は、高齢者クラブ「和（なごみ）の会」の5名が講師として参加し、園児たちに紙相撲、けん玉、コマ回しを指導しました。子どもたちは初めて触れる遊びに目を輝かせ、一生懸命に挑戦する姿が見られました。世代を超えて交流できる機会となり、子どもたちにとっては新鮮な体験を、高齢者クラブの皆さんにとっても子どもたちの元気にふれる楽しい時間となりました。社協では、今後も地域のつながりを深める活動を続けてまいります。

地元で愛され70年
白老でお弁当を頼むなら
株式会社マイカントリー
(旧 バルクマート)

仕出し弁当・オードブル等のご注文はお電話にて
TEL:0144-84-2233 FAX:0144-84-2234

社協広告有料広告募集中

白老町社協では広報活動にかかる財源確保と、地域住民への幅広い情報提供を図るため、「広報ほほえみ」に掲載する有料広告を募集しています。会社のPRや求人、事業・イベントなどの宣伝にご活用ください。皆様のご応募をお待ちしております。詳細は下記お問合せ先まで。

1枠8,000円…サイズ縦約4cm×横約8.5cm

職員募集

～随時採用しておりますので、お気軽にお問合せ下さい～

通院支援専属
訪問介護員
(パート)

給与：時給1,075円～1,260円 年1回昇給(前年度実績あり)
時間：8:30～17:15 勤務：週2～3日(月曜～金曜)
資格：普通運転免許・初任者研修修了かホームヘルパー2級

とくいの銀行しらおい支店「ちょとく」募集

白老には、お金の代わりに「あなたの得意(とくい)」を預け合い、必要な時に引き出して助け合う“銀行”があります。名前は「とくいの銀行」。預けた“とくい”は、登録者どうしで交換・活用できます。日常の小さな「とくい」が、人の役に立つ仕組みです。お問合せは社会福祉協議会まで。
例：ごはんを作る・ごはんをおいしく食べられるなど、内容は小さなこと、簡単なもので大丈夫です。

《皆様方の温かい善意に感謝申し上げます》

令和7年6月1日から令和7年8月31日まで(順不同・敬称略)

愛の小箱

セイコーマート白老東店(白老：4,615円)・匿名(4,620円)

物品預託

匿名(雑巾)・栄町栄寿会(清拭布)・匿名(紙オムツ等)

※7月号弔意寄付「伊藤美千子(白老)」と掲載したのは「伊東美千子(白老)」の誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

生活支援コーディネーター通信

生活支援コーディネーターの呼びかけをきっかけに、地域の団体や企業の方々と一緒に準備を進めてきた健康イベント「かめじゅカフェ・チャリティー」が開催されます。当日は、健康志向のロースイーツやドリンクを楽しめるカフェスペースのほか、血流測定や美容・健康に関するアドバイスを受けられるブースも設けられます。気軽に健康づくりに触れていただける機会です。入場料や募金箱の収益は、社協が行う「一般介護予防事業」に寄付されます。この事業は、高齢者の仲間づくりや健康づくりを支援し、住み慣れた地域で元気に暮らし続けられるよう取り組んでいます。また、社協からも「ポップコーン販売」や「ボランティア活動の展示」なども実施する予定となっており、幅広い世代が楽しめる場をつくりまします。ぜひお気軽にご参加ください。みなさまのご来場、お待ちしております。

日程 2025年10月19日(日)
時間 10:00～16:00
会場 しらおい経済センター 大ホール
入場料 500円(飲食代込)
主催 かめじゅカフェ・チャリティー実行委員会
連絡先 090-6264-5882
(かめじゅカフェ・チャリティー実行委員会)

編集後記

「誰かと一緒にやってみよう」と声をかけると、思っていた以上に大きな輪が広がるものだと実感しました。今回の「かめじゅカフェ」も、まさにその一例です。当日は甘いスイーツも、健康チェックも、子どもたちの笑顔もそろそろ場になりそうです。地域のみなさんとまた新しいつながりが生まれるのが楽しみです。(喜納)